

(公社)新潟県栄養士会 新発田支部だより

2023年8月発行
(公社)新潟県栄養士会 新発田支部事務局



7月1日(土)に参加者25名で「新発田支部職域交流会」を開催しました。4年ぶりに支部会員で集まることができ、対面でコミュニケーションがとれる嬉しさを実感した会となりました。残念ながら参加できなかった会員の皆様にも当日の様子などをお伝えできるように、今回はおたよりを発行しました。



なぜ職域
交流会なの？

- ♡ 他職域への理解を深めることで栄養士としての資質向上を！
- ♡ 災害時の協力体制、様々な情報を共有できる関係づくりを！

よろしくお祈りします

～役員紹介～

支部長	鈴木 敏美	学校：川東共同調理場
副支部長	中江 啓太	医療：新潟聖籠病院
事務局	大関 千寛	地域：京ヶ瀬こども園
事業部役員・HP委員	伊藤 梢	行政：胎内市教育委員会
事業部役員	小林 智美	医療：黒川病院
事業部役員	渡邊 暢子	学校：水原小学校
事業部役員	川上 優	福祉：やすだの里
事業部役員	諏訪田 芙未子	福祉：やすだの里
事業部役員	阿部 安南	地域



- ★ 来年度は支部長、副支部長、事業部役員改選の年となりますが、次回の支部交流会までが現役員の任期となります。
- ★ HP 委員を職域の事業部役員で持ち回りとすることにしました。
- ★ 次年度役員の順番は・・・
支部長は福祉、副支部長は行政、HP 委員は学校事業部役員となります。

～2023年度 新発田支部の事業～

- ・支部職域交流会(2023年7月開催済)
- ・食育人形劇(裏面、実践発表をご覧ください。)

地域包括ケアシステムに栄養ケアを！
『地域栄養ケア担当』部署を新設

～支部に求められていること～ ※詳細は別紙をご覧ください。

高齢化社会を迎え、地域に根ざした栄養・食生活支援体制を整えていくことが求められています。新発田支部では、2022年4月より『しばた栄養サポート』の運用が開始されましたが、いまだ実績がない状況です。今年度は地域で多職種、自治体と連携して栄養ケア活動が推進できるよう『地域栄養ケア担当』が設置されました。『地域栄養ケア担当』となった会員には、地域の栄養士の顔として、地域ケア会議への参加などで活動していただきます。

『しばた栄養サポート』とは・・・医師の指示のもとで在宅栄養指導や外来指導等の食支援活動を提供するシステムです。診療所と管理栄養士とで雇用契約を結び、報酬を得る仕組みとなっています。

～実践発表～

- ・食育人形劇「愛子ちゃんのカレーライス」：地域活動事業部会員の皆さん
- ・「病院業務の活動報告」：新潟聖籠病院 中江啓太さん
- ・「学校給食週間の取組」：川東共同調理場 鈴木敏美さん



人形劇発表



愛子ちゃんと野菜たち



鈴木さん発表資料より



中江さん発表

人形劇には5名のメンバーが必要な為、地域活動の会員が少なくなっている今、活動の存続が難しい状況です。興味のある方はぜひ一緒にやってみませんか。

～情報交換会～

6グループに分かれて行いました。30分弱という時間でしたが他職域での仕事の違う点、共通点など話題にあがり今後の活動の参考になったという声もたくさん聞かれました。

こんな話題があがりました！

- ・アレルギー対応について
- ・献立作成と減塩について
- ・材料費について
- ・各職域の仕事内容
- ・これまでの経歴や現状について
- ・・・などなど



～職域交流会を実施してみた～

初めて職域を越えた交流に焦点を当てた開催となり不安もありましたが、参加された皆さんにはご好評をいただくことができました。次回はもっとたくさんの会員に参加していただけるよう企画できればと思います。アンケート結果もぜひご覧ください。

《業務連絡》

- ・事務局だよりの封入が終了しています。栄養士会の最新情報は、新潟県栄養士会・日本栄養士会のホームページをご覧ください。
- ・今年度より研修会やその他の情報は事業部役員を通さず栄養士会よりメールで配信されます。登録アドレスのメール確認は定期的をお願い致します。
- ・栄養ケア・ステーションの登録は、県栄養士会ホームページの【お知らせ】→【ケア・ステーション】から可能です。職域は問いません。研修会情報なども届きますので、情報収集にも活用できます。